JTDNA　PL 検定３級　試験問題

実施日 2011 年１２月３日

受講番号　　　　　　　　　　　　　　　　受講者氏名

1. 当協会ガイドライン・解説書などの持ち込み可。
2. 私語厳禁、携帯や PC の電源は切ること。(マナーモード、スタンバイモードも禁止)
3. 終了した場合は解答用紙を机の上に伏せて挙手し、担当官の確認を得た後に退室すること。
4. 試験時間は 30 分です。終了の合図をしたら回答を止め、指示に従い退室すること。
5. 80 点以上を合格とします。また、いかなる場合でも不正行為を行つた場合は不合格とします。

Ⅰ.「　　」にあてはまる言葉を語群から選び、その番号を書き入れなさい。

(重複なし)（２０問×３点＝６０点）

1. 製品事故の原因には「製品の欠陥」「　　　　」「　　　　」がある。

2. PL 法上の欠陥の定義には「設計上の欠陥」「製造上の欠陥」「　　　　」がある。

3. 誤使用の原因には、「消費者の情報不足」、「消費者と事業者の（　　　　）」、「消費者の身勝手な判断」がある。

4. 誤使用の予防には、「正しい広告を見極める」、「正しい使い方がわかるものを使う」、「(　　　　) のわかるものを使う」ことが大切である。

5. 取扱説明書では視認性を重視し、「　　　　」、背景に色をつけない等の配慮が必要である。

6. 事業者には正しい製品情報を伝える「　　　　」があり、消費者には「　　　　」がある。

7. 取扱説明書には、『販売者や使用者に「　　　　」や「安全に関する情報 (寿命を含む)」などを正確に伝え、誤使用による「　　　　」を予防する』という役割がある。

8. PL 対策は「　　　　(PLP)」と「　　　　(PLD)」にわけられる。

9. 事業者は PL 対策の取り組みを行っていることを日頃から「　　　　」に示すことが重要である。

10. 製品事故が起きた場合、事業者は「　　　　」を最優先に考え、「　　　　」に努めるべきである。

11. 正しい PL 対策とは事業者が「　　　　」や「　　　　」対応、被害者救済、「(　　　　) 防止」などの一連の取り組みを履行し、その役割を達成するための社会インフラである。

12. 危険の洗い出しには「危険」「　　　　」「　　　　」があり、それぞれには規定がある。

1. 指示警告上の欠陥	2. 責務	3. 事故予防策	4. 被害者救済	5. 寿命	6. 社内外
7. 視点の違い	8. 早期和解	9. 維持管理上の不備	10. 警告	11. 製品の正しい使い方	
12. 事故後	13. 知る権利	14. 注意	15. トラブル	16. 誤使用	17. 事故発生後対策
18. 再発	19. 文字の大きさ	20. 製品事故予防			

以下協会事務局用（他は記入不可)

レポート	結果点数	試験官	理事承認	理事長承認	事務局長	準会員登録（番号）

Ⅱ. 取扱説明書としての必要項目を正しい記載順序に番号（１〜１０）を（　）に記入しなさい。

（１０問 ×２点＝２０点）

（　　）危険の洗い出し
（　　）お手入れ方法
（　　）使用方法
（　　）トラブルシューティング
（　　）仕様
（　　）表紙
（　　）保証規定
（　　）重要事項説明
（　　）製品説明
（　　）責任主体表示

Ⅲ.JTDNA で定める取扱説明書ガイドラインについて、下記の説明で正しいものには ○を、間違えているものには、× を（　）内に記入しなさい。（５問 ×２点＝１０点）

1.（　　）取扱説明書の仕上がり寸法は、ISO などの規定に沿って A4 判とします。

2.（　　）電化製品や暖房器などでの「危険物の洗い出し」は、最大でも見開き２ページまでとしている。

3.（　　）「危険の洗い出し」は、使用者のためを考えて、洗い出された危険については、出来るだけ多く記述することが必要である。

4.（　　）危険を表示する場合は、字が読めない人を考慮して出来るだけマーク記号で知らせることが世界的に共通であり、においても同じ方法が望ましい。

5.（　　）お手入れ方法などは、使用者の責任であるから、記載の必要は無い。

Ⅳ. 表示と表記の違いを述べよ。（１問 ×１０点＝１０点）